

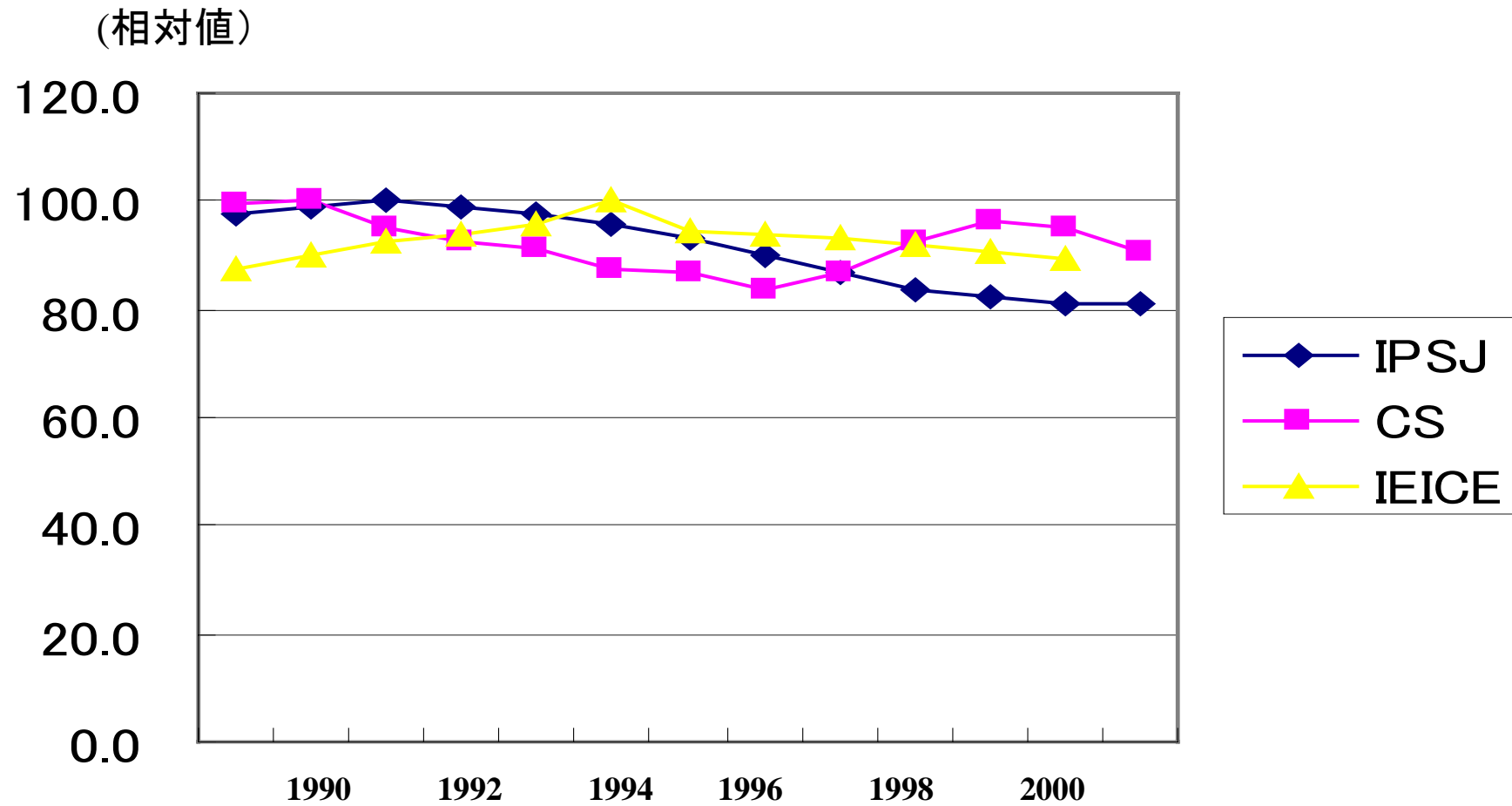
IPSJ: ITプロフェッショナル集団を目指そう

戸田 巖
(富士通研究所)

IPSJの終焉

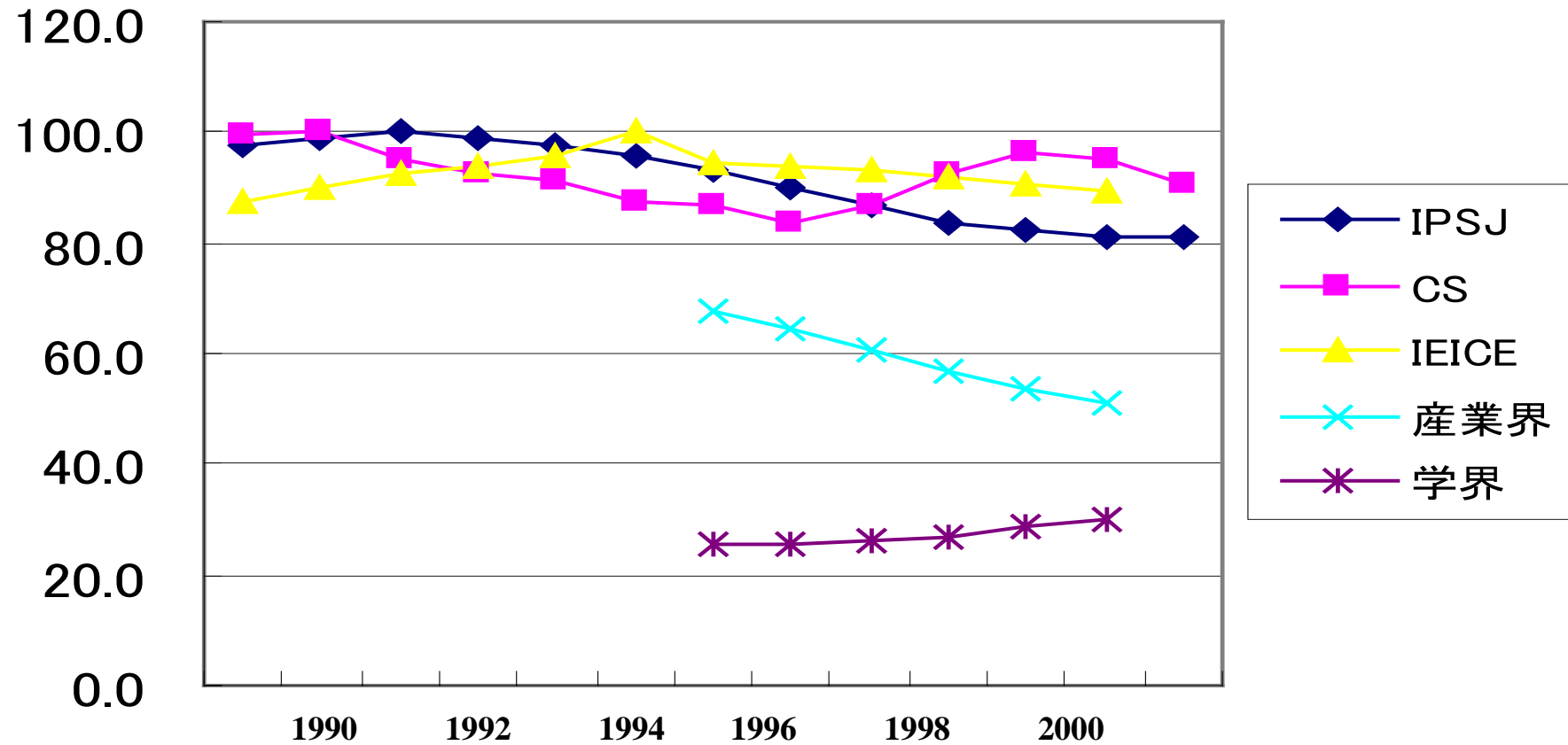
- IPSJの無用化
 - 会員が減少し続けている
 - 通信学会等と活動が重複
 - 中小学会が独立
- IPSJのファーム化
 - 一流の論文は海外の学会誌へ
- IPSJのブラックホール化
 - 外国学会からその活動が見えない

会員数



会員数

(相对値)



IP SJの新施策

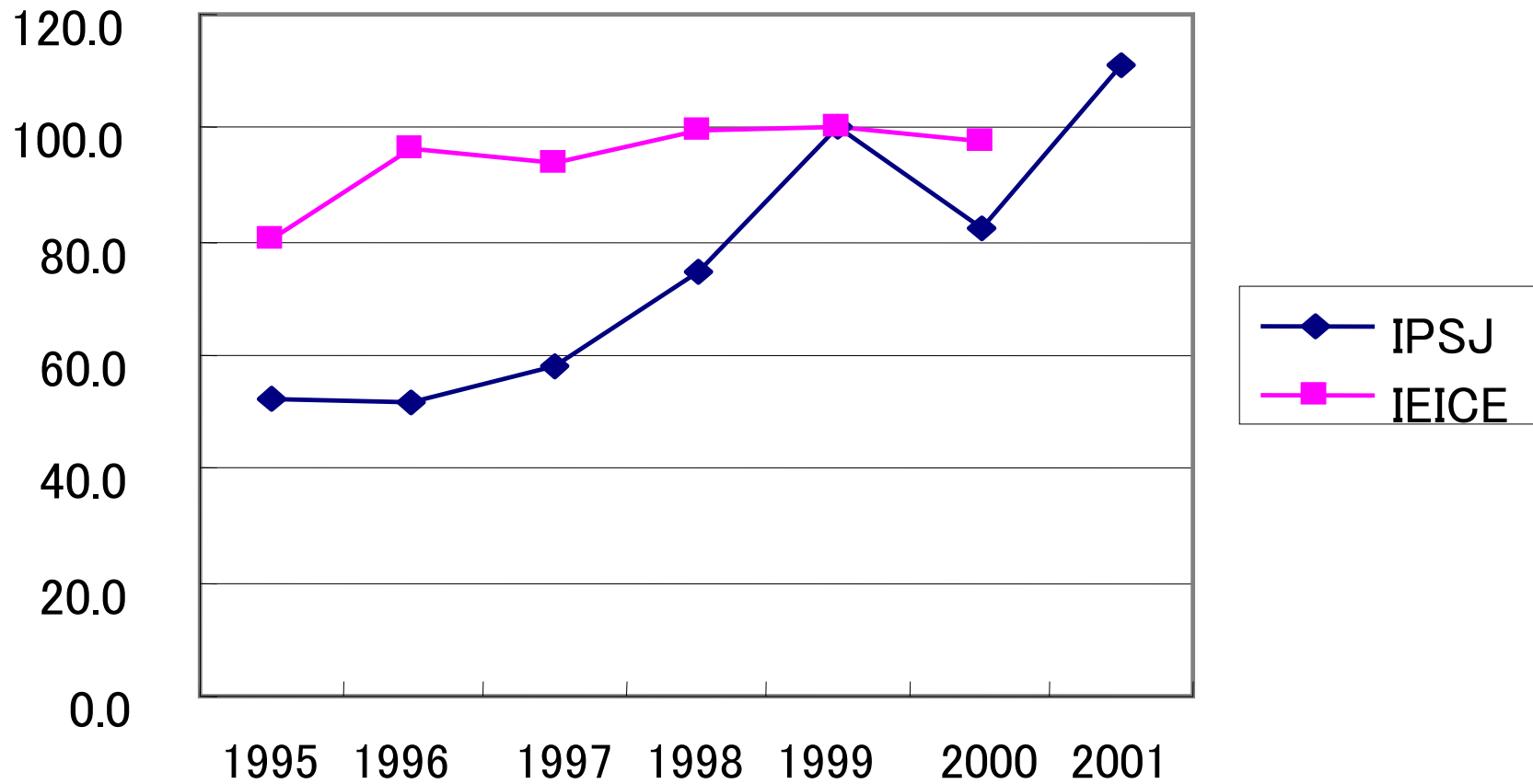
- 会誌改善
- トランズアクション
 - プログラミング (PRO)
 - 数理モデル化と応用 (TOM)
 - データベース (TOD)
 - ハイパフォーマンスコンピューティングシステム (HPS)
 - コンピュータビジョンとイメージメディア (CVIM)
- 教育委員会
- Symposium on the Applications and the Internet (SAINT)
- 情報科学技術フォーラム (FIT)
- 産業フォーラム
- ウェブ会員サービス
 - 会誌・論文誌の無料電子購読

CSの施策

- **IT Information Portal**
 - デジタルライブラリ
 - autonomous search
- **遠隔教育**
 - 200コース
 - 無料
- **資格制度**
 - Certified Software Development Professional
- **新しい雑誌の創刊**
 - Internet computing
 - Pervasive computing
 - Trans. on mobile computing
 - Trans. On information technologies on biomedicine

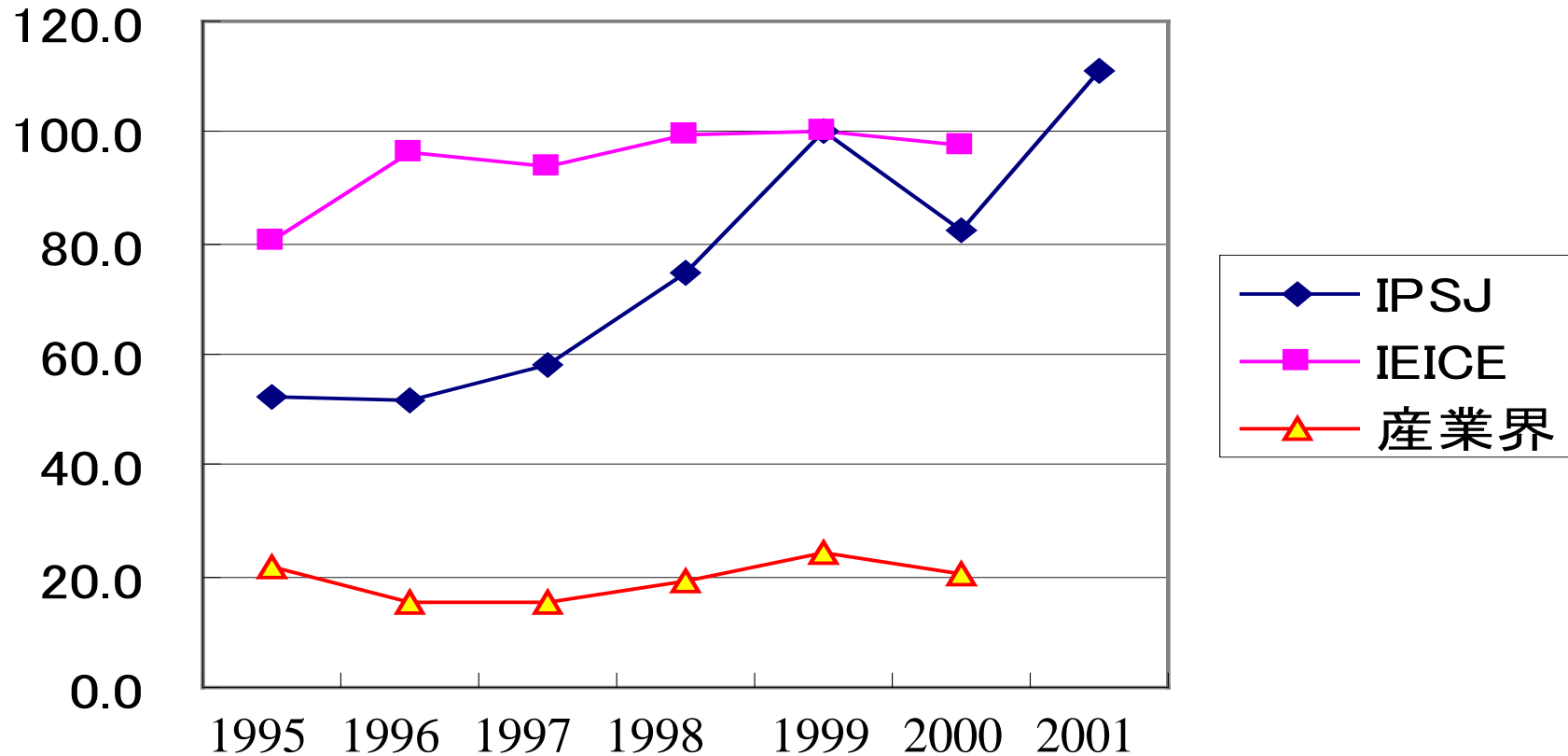
論文採録数

採録数(相対値)



論文採録数

採録数(相対値)



産業界:NTT,日電、日立、東芝、三菱、富士通からのIPSJ採録論文総数

IP SJの現状認識

- 研究者にとっては役に立つ
- 実務家にとっては魅力がない

環境の変化

- 情報発信 紙からネットワークへ
IT商業誌が充実
- 競争 Winner takes all
- IT技術 日常生活のインフラへ
基礎から応用へと成熟
- 大学 少子化に伴い競争激化
産学協力と科学技術振興
- 労働市場 企業別から職能別へ

IP SJのミツシヨソ

- 学術，文化ならびに産業の発展に寄与
 - ITの学術，技術の進歩発展と普及発展
 - 会員相互の連絡研修
 - (1) 研究発表集会および講習会
 - (2) 出版
 - (3) 標準化
 - 関連学会との連絡
 - 国際学協会への加盟

CSとの比較

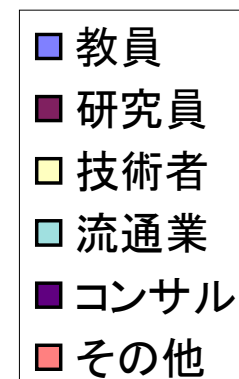
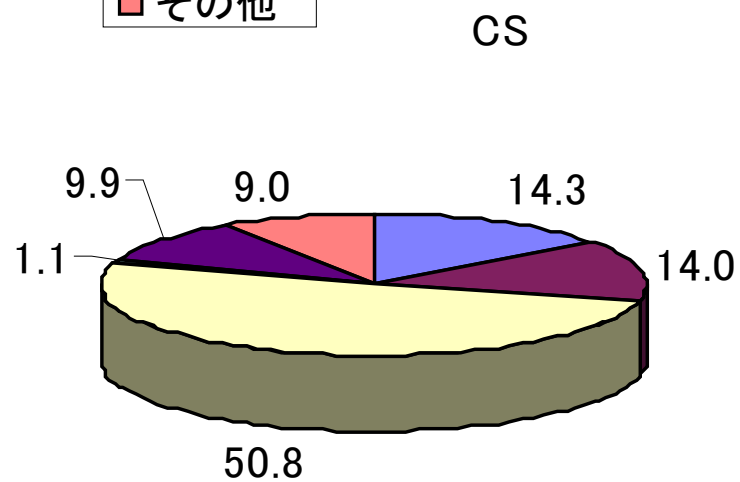
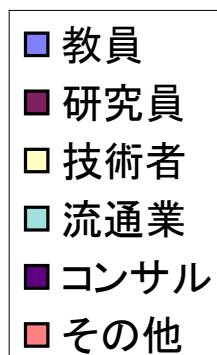
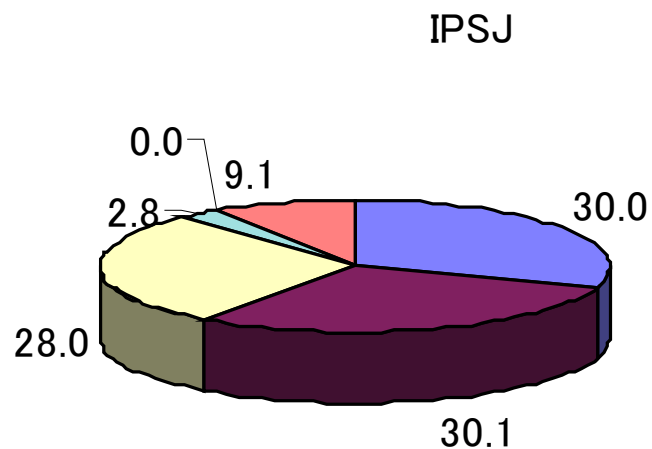
IP SJ

- 学術，文化ならびに産業の発展に寄与
 - ITの学術，技術の進歩発展と普及発展
 - 会員相互の連絡研修
 - (1) 研究発表集会および講習会
 - (2) 出版
 - (3) 標準化
 - 関連学会との連絡
 - 国際学協会への加盟

CS

- 学術・教育の高度化の活動
 - 研究発表集会
 - 出版
- プロフェッショナルの地位の向上
 - 専門家の便益増大のための各種調査の実施及び出版
 - 資格及び倫理基準の確立

会員構成



現状のIPSSJは 先生、研究者にとって

- 資格取得の場である
- 日本語論文発表の場である
- 実務教育の場である
- 情報交換の場である
- 差別化の場である
- パブリックサービスの場である

論文誌

論文誌

研究会・全国大会

研究会・全国大会

表彰、役員

カリキュラム、

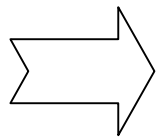
アクレディテーション

現状のIPSSJは 実務家にとって

- 最新情報入手の場である
会誌、産業フォーラム
- 情報交換の場である
役員会、懇親会
- パブリックサービスの場である
規格作成

IP SJは

- 研究者には役に立つ
- 実務家には魅力がない



- 研究者団体と実務家団体に分割する
または
- 研究者と実務家双方のプロフェッショナル団体を目指す

プロフェッショナルとは

- 例
 - 医師 26万人(2000年末)、弁護士
1万9000人(2002年2月)
- 必要条件
 - 高度の専門スキルが必須
 - 社会に必須なサービスを提供
 - 活動が自律的
 - 高度の倫理性が必要
- プロフェッショナルの要素
 - 資格制度
 - 倫理規定
 - 団体加入
 - 教育・訓練
 - 実務実習

IP SJは

- 学術進歩発展そのものを狙った団体とはいえない
 - ∴ 優れた論文は外国誌に発表
- 研究プロフェッショナルの生活のベースをつくる団体である
 - ∴ 論文発表/ピアレビューにより以下を行う
 - 研究者資格付与
 - 実績評価

研究者と実務家共存の利害

- 研究者と実務家のインタラクション
 - 双補的な情報入手できる
 - 産学協役に役立つ
- 会員数が多いことは
 - 社会からも外国からも注目される
 - ITプロフェッショナルの社会的地位確立に有利
 - 諸活動にスケールメリットが生じる
 - 会員の活動に制約が加わったり決定が遅れる可能性が高い
 - 互いに無関係な活動が行われる可能性が高い

IPSJのミッションへの提案

日本語で交流するITプロフェッショナル(個人)
の地位向上を目指す団体

- 資格制度
 - 資格基準制定
 - 資格認定
 - 論文査読・発表
 - 表彰
- 倫理規定
- 教育、実習
- 調査出版
- 情報交換
- 求人求職
- パブリックサービス
 - カリキュラム
 - アクレディテーション
 - 標準化

アクションゴール(例)

- 全体
 - ソサイエティ導入
 - プロフェッショナル毎のソサイエティ
 - 学会の名称変更
 - 研究者・実務家のインタラクションの促進
 - インタラクティブエッセイ
 - パネル討論
 - 産学協力への貢献
- 国際化
 - ウェブ会員サービスに翻訳サービスを追加
- 研究者向け
 - 評価の厳正化
 - 事後評価の強化
 - 論文賞を増やす
 - 境界領域の取り入れ
 - トランズアクション発行のサポート
- 実務家向け
 - 資格付与への関与
 - CS, ACMとの連帯
 - 生涯教育の提供
 - インターネット教育